

町会なんでもおしゃべりサロン

負担のない運営と引継ぎの重要性
～未来を見据え、一歩ずつ～

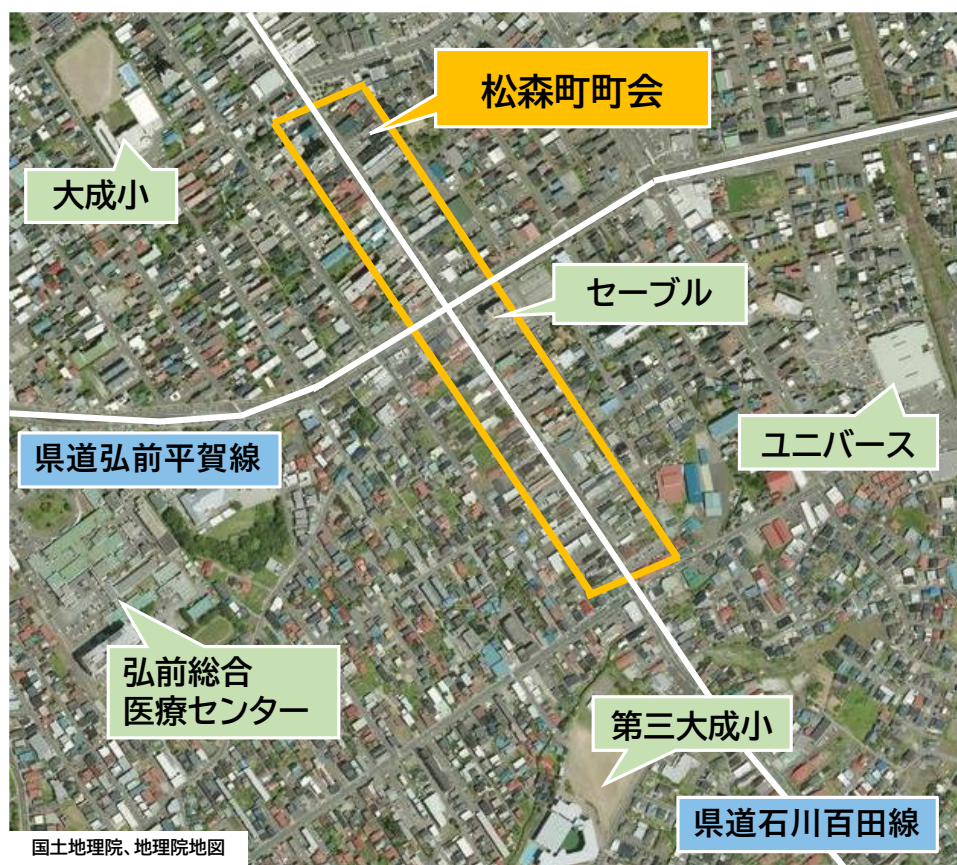
松森町町会長 山内和人

町会長歴2年 令和5年～

松森町町会の概要

(1)地域環境

- ・買い物がしやすい。
(徒歩10分圏内)
- ・交通の便も良し。
- ・自営業者が多い。
- ・病院や法人が点在。



松森町町会の概要

(2)組織

- ・世帯数 200世帯
- ・区数 14区
- ・役員数 7名
⇒町会長1人、副町会長1人、会計1人、監事4人
- ・拡大役員 4職・8名
⇒民生委員、青少年育成委員、顧問・相談役、
排雪溝組合長

松森町町会の概要

(3)運営

- ・ 会議 総会⇒年1回の開催
 定例役員会⇒開催しない
 行事打合せ会議⇒随時開催
- ・ 監査 総会前に実施(年1回)
- ・ 町会行事
 敬老会・ラジオ体操・ねぷたの町内運行

町会長になった経緯

- ・ 元々は町会役員を務めていたが、前町会長の
前時代的な運営に疑問を持っていた。



- ・ 前町会長が退任した際、他の役員から新町会長
に推薦された。



- ・ 令和5年7月から町会長を務め、現在2期目。

町会長になった時の状況

● 最初に戸惑ったこと

- ・ 以前の町会役員の大半が役員を辞めてしまった。
- ・ 町会の規約や会議の議事録がなかった。



目標

町会員にとってクリーンな町会活動を心がける！



町会長になって行ったこと

● 監事を4人に増員

⇒ 複数人の視点で監査し、透明性を向上

● 町内運行ねぶたの復活

⇒ 老若男女が集まるイベントの開催

● 松森町のインスタグラムに町会の広報を掲載

⇒ 町会未加入世帯に対しても、町会の活動を周知

NEW

町会長になって行ったこと

●48年ぶりに町会ねぶたを復活させ、町会の活性化を図りました。



R6年



R7年

町内で暮らす全ての方々の親睦を目的に

ねぶた町内運行

参加者募集！

■運行日／7月27日(日) ※雨天は翌日28日(月)

■運行時間・コース／午後7時～町内一周

■集合時間・場所／

午後6:45までに松森会館に集合

■参加費／無料 ■服装／自由

※松森町にお住まいの方、関係の方なら誰でも参加可

※当日、参加者は集合場所で傷害保険(町会負担)受付をしてください

※運行終了後、松森会館にてお子様には参加賞のお菓子をプレゼント!! その後、参加者ご協力者で簡単な懇親会(自由参加)を開催いたします

■ねぶた参加ご希望の方は、運行当日の申込みも可能ですが飲食物などの準備の為、予め各区長か町会長まで別紙申込書にてお申込みくださるようお願いいたします。

松森町ねぶた実行委員会

町会長になって行ったこと

業務の
効率化

●赤い羽根共同募金、たすけ合い会費を
町会費から出費するようにした

●町会費集金の際、「領収書 兼 不在時の案内」
を配布することにした

●会議の開催は必要最低限に！

⇒役員間の連絡は携帯のショートメッセージを活用



業務の効率化

●赤い羽根共同募金、たすけあい会費を町会費から出費

2025年11月21日

松森町ニュース

2025 募金払い込み完了

赤い羽根
共同募金
委員会

領収証書

金額	令和7年11月21日	¥5,000
金融機関名	口座番号	
受取人	青森みちのく銀行 北大通支店	
口座名義	737 アオモリバンク「たすけあい」 社会福祉法人 青森県共同募金会	
払込人	K0401 松森町町会	
備考	金融機関受付印	
上記金額正に受領しました 取扱銀行 青森みちのく銀行本店		
7.11.13 印		

振替払込請求書受領証

02290	0
145647	
社会福祉法人 弘前市 社会福祉協議会	
¥5,000	
松森町町会	
日 期 印	07-11-21 1501000111 2730 ヌウチヨ
現金扱	(84141) N94220003

町会費に含めて皆さまから集金した「たすけあい会費(弘前市社会福祉協議会)」と「赤い羽根共同募金(弘前市共同募金委員会)」の二つの募金を指定金融機関に入金しました。

本来この募金は今の時期に各世帯をまわって集めるものですが、日中不在の世帯が多数あり、集金する区長さんも大変という事で現在のスタイルになっています。募金の他にも町会活動に関する良案ありましたら区長さん、町会長さんにお気軽にお知らせしてください。

・町会費から出費することで、集金の手間が減り、区長の負担軽減に。

・実際に払い込みが完了したことを、町会だよりで回覧し透明性を示す。

領 収 書

様

¥

但 町会費として

2025年 月 日 上記正に領収いたしました

松森町町会 町会長 山内 和人
(集金担当)

※申告等で使用する領収書をご希望の場合は町会長または区長にお申し付けください

様

本日町会費の集金で訪問したところお留守のようでしたので

①改めて集金を希望する場合は在宅日時をお知らせください。
(電話)

②または次の納付先まで予め連絡の上納付してください。
・ねぶた屋(山内町会長店舗) TEL
・トレジャーアイランド(成田監事店舗) TEL

(集金担当)

本日町会費の集金で訪問したところお留守のようでしたので

①改めて集金を希望する場合は在宅日時をお知らせください。

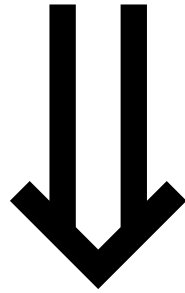
②または次の納付先まで予め連絡の上納付してください。

業務の効率化



+

町会の透明性を高める

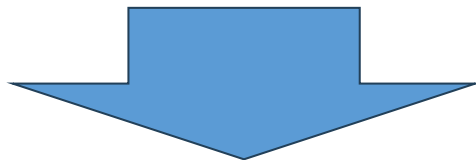


～町会の持続性アップ～



～負担の少ない運営～

- ・ ゆるいものでやっていく
- ・ 身の丈に合ったことをする （自分のできる範囲で）
- ・ 役員と協力して運営する （一人で背負い込まない）



町会を維持するために無理をしては元も子もない。
小さくゆっくり維持していくことが重要！

～引継ぎの重要性～

●未来に残していくために

未来の役員が、自分が引き継ぎした時と同じ状況にならないように！



- ・総会でも役員会でもなんでも議事録に残す。
- ・未加入世帯へ、広報・ごみの予定表を持って訪問する。
- ・若者たちに動いてもらうための仕組みを考える。

●未来に残していくために

- ・ 総会でも役員会でもなんでも議事録に残す。
⇒後任が迷わず町会運営を行えるように。

- ・ 未加入世帯へ、広報・ごみの予定表を持って訪問する。
⇒町会のやってることを知ってもらい、次の担い手を発掘する！

- ・ 若者たちに動いてもらうための仕組みを考える。
⇒町内ねふたの継続(老若男女が集まるイベント)

●未来に残していくために

町会の現状はすぐに良くなるものではない。
5年後10年後を見据えての行動が必要になる。



無理に勧誘はしない。
長い目で見て関係を築いていく。
町会のような小さなコミュニティ
だからこそ人とのつながりが大事！



今後に向けて...

誰でも気軽に参加できる町会運営を！



老若男女が集まり、活発に交流できるイベントを開催したい。
⇒町会という小さなコミュニティだからこそ皆で協力が必要



人とのつながりを大事にし、住民が安全安心に暮らせる町会になるよう、一丸となって取り組みたい。



町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～Aグループ記録（概要版）～

開催日時：令和8年1月16日（金）午後6時半から8時半まで

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ボム

Aグループ：町会長・役員5名、オブザーバー1名

○町会役員、町会の特色について(事前案件)

- ・町会だよりの発行について。
- ・運営の分担について。
- ・懇親会について。
- ・役員数について。
- ・神社の管理について。

○町会行事について

- ・子ども対象の行事。⇒ラジオ体操・作品展・夏休みのレクリエーション・地区運動会・防災クッキング

○他町会との共同事業について

- ・共同事業。⇒健康サポーターの健康講話・お祭り・スキー教室・ラジオ体操

○担い手について

- ・町会長に一任せず、町会役員みんなで運営することが重要。

○町会加入の声掛けについて

- ・声掛けの担当者。⇒町会長・班長・区長
- ・町会長に依存せず、任せられる人を見つけることが大事。

○町会費と町会員について

- ・金額について。
- ・生活保護世帯の会費について。⇒全額負担・免除
- ・ごみ集積所管理への協力金を負担してもらっている。

○町会役員として思うこと

- ・自分が継続して動いていれば、周りも動いてくれるようになる。
- ・何事も周知が大事。

○廃品回収について

- ・昔は神社で廃品回収を行っており、町会の収益になっていた。

町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～Bグループ記録（概要版）～

開催日時：令和8年1月16日（金）午後6時半から8時半まで

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Bグループ：町会長・役員6名、オブザーバー1名

○除雪について(事前案件)

- ・ごみ集積所の除雪に、手当の支給を検討している。
- ・除排雪は、その地域で安心して暮らせるポイントになる。
- ・担当制で一人暮らし宅の雪かきを行い、商品券を支給している。

○町会役員の選任について

- ・町会役員になった経緯。 ・役員の選任方法。
- ・前町会長が退任時、1期はアドバイザーとして残ってもらった。
- ・現役を退いた若手から役員候補を見つける必要がある。
- ・意見の違う人が入らないと、町会は上手く回らない。

○町会行事について

- ・病院や複数町会と共催している。
- ・青年部が活発である。
- ・ねぶたを出している町会は元気である。

○町会費について(事前案件)

- ・世帯数と金額について。
- ・高齢者世帯の会費を半額にしている。

○神社や消防団への助成について

- ・消防団への寄付行為が禁止になり、町会から負担している。
- ・神社関係は会計を別にする必要があるのではないか。
- ・町会内の神社を維持し、費用を負担することは自然の原理だと思う。

町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～C グループ記録（概要版）～

開催日時：令和8年1月16日（金）午後6時半から8時半まで

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

C グループ：町会長・役員6名、オブザーバー1名

○自己紹介(我が町会の現状)

- ・専任の事務員があり、引継ぎは苦勞なくできている。
- ・担い手不足や事業の負担感から公民館役員が廃止され、町会事業と統合した。
- ・引継ぎは口伝が多く、記録が無いため曖昧な部分がある。
- ・町会長代行として代表者を立てている。女性役員増加に向けて働きかけたい。

○町会長の負担軽減について(事前案件)

- ・広報作成について⇒ 担当部門が必要、複数人で行う、デジタルの活用が有効
- ・連絡グループに夫婦両方を入れるのが秘訣。女性の活躍は鍵になる。
- ・会議への出席を分担している。

○会費について

- ・集めた会費は、しっかりとその分の活動をするのが大事。

○連絡手段の効率化について

- ・市の「LINE オープンチャット講座」は有効である。
- ・回覧板は必要だが、新しい情報共有の仕組みで若い世代の取り込みに繋がる。
- ・町会のグループ LINE は多くの若者が参加し便利。苦情は無い。

○運営・活動の見直しについて

- ・若手と繋がるきっかけが大切。
- ・「町会の魅力を高める」ことが大切。活動に魅力が無ければ参加する動機が失われてしまう。
- ・町会は災害時の助け合いが契機となっており、そこを意識することが大事。
- ・町会費の集金方法の見直しについて。